

もっと!

Motto! JA Hiroshima

JAひろしま

2023

8

No.005

特集
農業生産の拡大に向けて
地域に寄り添った営農指導体制と
営農振興対策

CONTENTS もくじ

- 2 特集 農業生産の拡大に向けて
- 6 輝く農業人
- 8 JAひろしま今月の産直市
- 9 今月のおすすめレシピ
- 10 JAひろしまトピックス
- 12 イチオシ!トピックス
Oh! 農 Our High School
- 13 Information JAひろしまからのお知らせ
- 14 健康ひろば
- 15 クロスワードパズル・みなさまからのお便り紹介

農業生産の拡大に向けて

地域に寄り添った営農指導体制と営農振興対策

JAでは地域農業の振興と農業生産の拡大に向けて、「JAひろしま営農振興計画」を定め、全域品目と各地域の特性を活かした品目を選定し、計画的な産地づくりと持続的な農業の振興に取り組んでいます。

生産者・農家を支える重要な役割を担う営農指導は、「出向く営農指導」を基本に階層別の営農指導体制で生産者に寄り添った営農指導を実践します。

今月号では、農業生産の拡大に向けた、営農指導体制と営農支援について紹介します。

JAの振興品目

全域振興品目

- 米
- 主食用米
- 園芸
- 野菜
- アスパラガス
- トマト
- ほうれんそう
- わけぎ
- 青ネギ
- 白ネギ
- キャベツ
- エダマメ
- キュウリ
- ナス
- 柑橘
- 常緑果樹
- 落葉果樹
- ぶどう
- 花
- 卉
- キク
- トルコギキョウ
- リンドウ
- 畜産
- 和牛

地域振興品目

全域振興品目以外で、各地域（地域本部）において振興品目として選定したもの

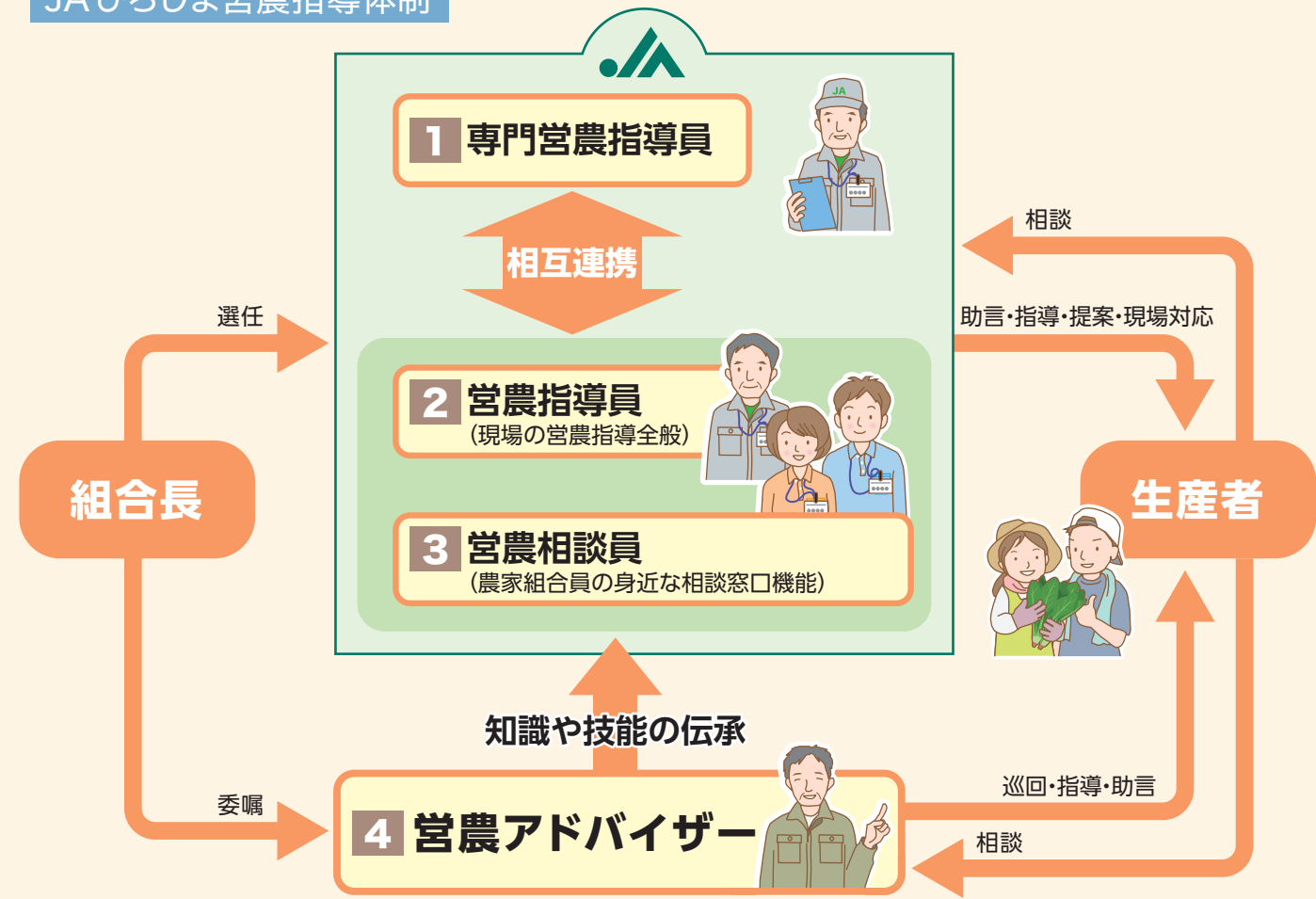


営農指導体制

「営農指導はJAの顔」と言われるように、営農指導員はJAと農家を結ぶパイプ役として重要な役割を担っています。JAは、営農指導に従事する職員を計画的に育成するとともに、農家組合員に寄り添った営農指導を充実させます。4階層の営農指導体制で地域農業を振興します。

- 1 専門営農指導員**
専門的な知識や技能を持ち、管内全域の農業振興全般を総合的にプロデュースし、幅広い分野における総合的な支援を担います。また、分野・品目別の専門知識と経験を踏まえた営農指導を担います。
- 2 営農指導員（現場の営農指導全般を担う）**
出向く営農指導を基本に、栽培講習会・研修会を定期的に開催するとともに、営農相談の対応や技術指導、産地課題の解決などを担います。
- 3 営農相談員**
アグリセンターや購買店舗などで、農家組合員の身近な相談窓口機能を担います。
- 4 営農アドバイザー**
JAの元職員や、地域のリーダー的な先進農家等と業務委託契約を締結し、地域の実態に応じて地区や品目を定め、農家からの営農相談に対応するほか、若手職員に知識や技能を伝承し、営農指導員や営農相談員の育成を担います。
令和5年度は6地域本部で21人を任命しています。

JAひろしま営農指導体制



令和5年度営農指導体制

営農アドバイザーの活動事例

営農指導担当者

(専門営農指導員・

営農指導員・営農相談員等)

116人

営農アドバイザー

21人

駐在技師(JA広島果実連)

6人

合計 143人

庄原地域本部

山岡 芳晴さん(口和地区)
田平 訓三さん(西城地区)
下奥 朋則さん(高野地区)
藤谷 成治さん(庄原地区)
長田 直久さん(東城地区)
垣内 秀孝さん(比和地区)
藤岡 和真さん(甲奴郡地区)

佐伯中央地域本部

阿部 勝也さん

芸南地域本部

前田 耕壮さん

三原地域本部

山名 隆三さん

広島北部地域本部

大石 克哉さん(北広島町)
谷本 敏昭さん(安芸高田市)

営農アドバイザー

広島中央地域本部

古谷 和穂さん(西条地区)
財満 俊子さん(八本松地区)
向井 俊貴さん(高屋地区)
三坂 智英さん(志和地区)
相田 定伸さん(黒瀬地区)
仲田 勝信さん(福富地区)
河内 清人さん(豊栄地区)
木原 善行さん(河内地区)
竹本 寿彦さん(大和地区)

農業振興対策

営農・経済部門間の連携とスケールメリットを活かし、担い手法人等への支援強化と管内農業者の大多数を占める多様な農家組合員が、自らの農地を守り農業を継続することができるよう、行政や関係機関と連携し、各種支援に取り組みます。

実践型研修農場(モデル農場)や研修施設の活用

実践型研修農場は、新規就農者の研修・就農支援、新品種や新技術の展示圃場、営農指導員の研修、機械オペレーター等の研修、品目別研修会場など、多岐にわたる役割を担っています。

JA管内の実践型研修農場・施設等と関係機関と連携し、地域農業を支える担い手の計画的な育成に行政と連携して取り組みます。

また、新たな実践型研修農場(モデル農場)の設置についても検討を進めます。

JAは、現場経験を重視しながら計画的かつ長期的に営農指導員の育成に努めます。また、営農指導に必要な知識習得に向けて資格取得を奨励し、営農指導力の向上を図ります。

事例① 定期巡回で アドバイス

広島中央地域本部では、アスパラガスやナス、ピーマン、白ネギなど主要園芸品目の生産者約200人を月に1回以上巡回しています。アドバイザー1人当たり15〜35人を担当し、生育状況や相談内容を営農指導員と共有して対応しています。



営農指導員(右)と情報を共有

事例② 「佐伯長ナス」の 生産拡大へ



部会員(右)に栽培を助言



若手職員(左)に技術を継承

事例③
若手職員の育成
三原地域本部では今年度、若手営農指導員や職員のサポートを中心に人材育成を進めます。これまでの豊富な経験、知識や技能を伝え、専門的な営農指導に係る技能向上を目指します。

JA管内の実践型研修農場等

① 佐伯中央・研修農場

(廿日市市玖島) ほうれんそう、コマツナなど

② 安芸・ぎずな農園(広島市安芸区)

白ネギ、コマツナ、キャベツ、アスパラガス、トウモロコシなど



③ 株式会社JAアグリ三次

(三次市廻神町) アスパラガス、白ネギ、小菊、ブドウなど

④ チャレンジファーム

(JA全農ひろしま) ◆チャレンジファーム広島・三原農場(三原市高坂町) トマト、葉菜類など

◆ チャレンジファーム広島

上下農場(府中市上下町) アスパラガス



◆ チャレンジファーム広島

北広島農場(山県郡北広島町) ミニトマト

⑤ 広島県果樹農業振興対策センター

◆ 宮盛農園(呉市蒲刈町) 柑橘類、イチジク



◆ 鷺浦農園(三原市鷺浦町)

レモン

担い手法人等への 経営管理支援

農家組合員の適正な納税と経営改善、経営の安定化を図るため、地域農業を支える多様な担い手や法人を対象に、県域農業経営管理支援システムを活用した農業経営管理支援(記帳支援・記帳代行等)の体制整備と普及拡大に取り組みます。

また、農業経営管理支援担当者の育成や「JA農業経営コンサルタン」等の資格取得を推進し、法人経営や法務・会計・税務等に精通した税理士や会計士等の外部専門家への業務委託による経営分析・経営診断等の仕組みを検討します。

品目別生産部会等の連携

生産拡大と有利販売を目指して、各地域の品目別生産者団体、生産組合、生産部会等の連携強化に取り組みます。



労働力支援や農業従事に係る負担軽減

みます。JA管内で同一品目を栽培する生産者団体、生産組合、生産部会等の合同研修会や視察研修などの連携を検討します。



高齢化や後継者不足が進む中、労働力支援として農作業受委託の事業化に向けて検討を進めます。また、農業マッチングアプリなどを導入し、季節労働力の確保を進めます。

JAが保有する農業機械のレンタル事業やスマート農業の促進に向けたモデル展示圃場の設置等に取り組めます。



大切に保管する児童からの手紙



風早向宮農組合のメンバーと一緒に作業



「広島のみつわ」として販売

東広島市安芸津町の山中昭治さん(76)は、特産びわの栽培で耕作放棄地の解消に情熱を注いでいます。仲間と営農組合を立ち上げ、市内6カ所、約40aの荒廃地を開墾。省力化や効率化を進めながら園地を守ります。約10年前から地元の東広島市立風早小学校で食農教育活動を続け、児童にびわの栽培と地域の魅力を伝え、次世代につないでいます。

55歳の退職を機に東京からUターンして、びわなどの栽培を始めた山中さん。幼馴染や知り合いから「耕作放棄地をなんとかしたい」と相談を受け、対策に乗り出しました。

木や背丈を越す力やなどで荒れ放題の荒廃地を、仲間とパワーショベルや

トラクターなどを持ち寄り開墾。園地には、JAひろしまの芸南果樹研究同志会の大育苗事業を利用して、収穫までの期間が短縮できる2年生苗木の「田中」を植えました。びわの栽培技術や知識は、親戚や専門書などで習得。2007年にはグループを結成し、町内に点在する3〜15aの耕作放棄地を再生し、徐々に面積を増やしました。

2013年には風早向宮農組合を設立しました。廃材を利用して園地に作業棟を建設。学校関係者に頼まれて、2014年から3年生を対象に食農教育を行なっています。5月に袋掛け、6月に収穫などを組合で教え、学校での出前授業にも参加します。

児童が通う園地は、安全・安心を最優先して無農薬で栽培します。剪定や袋かけなどの管理を徹底。園地を巡回して、小まめに草を刈り、病気のまん延を防ぎます。

急傾斜の園地で持続可能なびわ栽培の確立へ、作業の省力化や効率化にも積極的に取り組みます。枝の誘引には、ペットボトルを活用。田当たりを考慮し、樹高を低く保つことを意識します。3年前に乗用草刈り機を導入し、一層の省力化を進めます。

山中さんは「仲間の協力と地域の支



びわ

安芸津町は中国地方有数のびわの産地で、「田中」や「福原」などの品種が栽培されています。収穫時期は6月上旬から下旬です。上品な甘みが特徴で、主に県内の市場に出荷されます。



枝の誘引にペットボトルを活用

えで活動ができる。元気で楽しく農業を続け、びわと地域の魅力を次世代につないでいきたい」と笑顔を見せます。



第4回

東広島市安芸津町
「びわ」

やまなか しょうじ
山中 昭治さん(76歳)

ほっとTime

・自分の知らない果樹の品種を探す

ぐっとWord

・自分の土地に合う品種か
美味しい品種を探すより、自分の土地に
合う品種を探すことが重要。

元気に楽しく農業を続け、
びわと地域の魅力を
次世代につないでいきたい

東広島市安芸津町

185

お立ち寄りスポット！



今月の産直市周辺のおすすめスポットをご紹介します。



せんせきていえん

仙石庭園

産直市から車で約10分



仙石庭園は、2020年に庭石登録博物館に認定された日本を代表する石庭です。約12,000坪の敷地内には、北は北海道、南は沖縄県までの美しい庭石があり、個性的な形のものや貴重なものなど3,000個以上を展覧しています。夏は鮮やかな新緑とのコントラストが美しく、四季折々の花や風景が楽しめます。また、予約制のバーベキュースペースやお食事処もあり、年齢問わず楽しめるスポットです。

- 東広島市高屋町高屋堀1589-7
- お問い合わせ TEL.082-434-3360
- 開園日時 年中無休 9:00～17:00
- 入園料 一般(高校生以上)1,000円 小・中学生以下 300円 未就学児以下 無料

しゃくなげ大橋 産直市から車で約20分



橋名の「しゃくなげ」とは、福富町のシンボルで町の花でもある「石楠花(しゃくなげ)」に由来しています。風のない穏やかな天気の日には、2連アーチが湖面に映えてメガネのように見えることもあります。また、「道の駅・湖畔の里福富」が隣接し、子どもが楽しめる巨大遊具が人気で、休日には多くの家族連れで賑わいます。

- 東広島市福富町久芳 福富バイパス
- お問い合わせ TEL.082-513-3891 (広島県道路企画課)



今月のおすすめレシピ

でかピー君の肉詰め

豚のこま切れ肉で作る簡単時短メニューです。タレ無しでも美味しく食べられるのでお弁当にもピッタリの一品です！



材料(4人分)

でかピー君……………3個
豚のこま切れ肉……………300g
小麦粉……………適量

★ 焼肉のタレ……………大さじ1.5
酒……………大さじ1
みりん……………大さじ1/2
はちみつ……………小さじ1
片栗粉……………大さじ1

作り方

- ① 豚のこま切れ肉と★をポリ袋に入れてしっかり揉み、下味をつけます。
- ② ピーマンは横半分に輪切りにし、種を取ります。ポリ袋にピーマンと小麦粉を入れてふり、まんべんなく小麦粉をまぶします。
- ③ ピーマンに、①を隙間なく詰めます。
- ④ フライパンに油をひき、ピーマンを並べます。蓋をして弱めの中火で焦げないように5分焼きます。
- ⑤ 裏返して、更に3分程度焼いて完成です。

おいしいを見つけに行こう！



東広島市高屋町杵原1264-1

【お問い合わせ】TEL.082-439-1147

【営業時間】9:00～18:00

【定休日】盆・年末年始休業の場合あり

となりの農家 高屋店



こだわりある外観と店内

2021年4月にリニューアルオープンした「となりの農家 高屋店」。農業に親しみをもってもらえるよう、竹製の籠など昔の民具や農具を展示してレイアウトを工夫しています。店内には、地元産の農産物や加工品などが充実し、地元カフェの冷凍ピザやアイスなども販売しています。



目を引く店内ポップ

商品の陳列棚の各所には、カラフルなポップがたくさんあります。利用者の目にとまるイラストや簡単な調理方法など、スタッフが1つずつ手書きで作成しています。入口付近に、その日のおすすめ農産物をランキング形式で掲載することで、お客さまが商品を手に取りやすいよう工夫しています。



ナス

広島中央地域本部管内は県内一のナス産地です。8月から9月にかけて出荷のピークを迎え、産直市には新鮮なナスがたくさん並びます。形や色など様々な種類があるので、ぜひ食べてみてください。



高屋店 亀村 萌さん



ハウスレモンの出荷が始まりました



尾道市瀬戸田町のJAせとだ選果場で6月26日、鮮やかな緑色の果皮で酸味が強く、爽やかな香りが特徴のハウスレモンの出荷が始まりました。5戸が約1haで栽培し、平年並みの約25tの出荷を見込んでいます。



▲ハウスレモンを収穫する稲葉さん

通常のレモンは5月中旬に開花し10月から収穫しますが、ハウスレモンは1月に開花し、6月から収穫するため需要期の夏場に新鮮なレモンを楽しめます。

生産者の稲葉典文さん(42)は、ハウスレモンを約16aで栽培し、水管理や温度調整など細かく管理しています。稲葉さんは「フレッシュな香りと酸味を味わい、評価してほしい」と話しました。

ナス・白ネギ就農者育成



JA広島中央地域本部は、夏秋ナスと秋冬白ネギを組み合わせた複合経営の推進で就農者を支援しています。2022年から栽培経験がない組合員を対象に、栽培塾を開いて新規生産者を育成しています。

本年度の栽培塾は5月に開講し、11人が来年1月まで毎月1回、栽培の基礎知識を学んでいます。JA営農指導員が作業時期に合わせた内容を講義し、生産者の圃場での現地講習も実施しています。

6月下旬に東広島市で開いた講習会では、ナス380本を作付けする徳川薫さんの畑を見学。誘引の仕方や芽かき、追肥の位置などを確認しました。



▲ナスの栽培を学ぶ栽培塾の参加者

カレーとコラボで野菜をPR



ハウス食品とJA全農がタイアップし、「広島の夏野菜食べつくしカレー2023」が考案されました。夏が必要期のカレーに広島県産の米(あきろまん)や牛肉(元就牛)が使用され、広島北部地域本部野菜生産部会が栽培するチンゲンサイやナス、ミニトマトがトッピングされています。焼くことで甘みを増した野菜は、子どもから大人まで食べられるメニューとなっています。7月には広島県庁へ湯崎英彦広島県知事を表敬訪問し、取組報告を行いました。

8月下旬までオリジナルのCMが流れるほか、スーパー等の店頭でPRすることで地産地消を盛り上げていきます。



▲湯崎知事を表敬訪問した岡田部会長(左)

こども食堂に県産米と地元野菜を贈る



JA呉地域本部は6月中旬、JAバンク広島と共同で呉市のこども食堂「こども食堂 むすびとみそしる」代表の岡村のぞみさんに県産米10kgを贈りました。

同地域本部は食農教育と地域貢献の一つとして、次世代を担う子どもたちに役立ててほしいと初めて実施しました。大下常務は「JAと岡村さんの思いが重なった。将来を担う子どもたちやそのご家族のため、地域に貢献するJAとして今後も活動を広げたい」と話しました。

この食堂は2022年1月に発足。子どもたちを笑顔に、食べることで元気になってほしいと、呉市の市民公益活動団体として毎月2回、第2・3土曜日に同市内で食堂を開きます。

7月初旬からは地元生産者から野菜などの寄付を受け、毎月同食堂へ送っています。



▲県産米を手渡す大下常務(左)と岡村代表(中)

園芸有利販売に連携 担当者ら初会議



JAひろしまは、県内産需要を掘り起こしながら、市場情勢を産地につなぎ、多彩な園芸品目の販売による農業者の所得増大を目指します。農産物の有利販売のため販売企画室と営農販売部、各地域本部営農担当部署が連携を強化します。6月1日には、広島市内で販売連携会議を初めて開きました。

会議には、販売担当者や営農指導員ら24人が出席し、市場が青果物の県外産地の状況や市況見通しを説明し、県内産需要などで意見を交換しました。2022年度青果物販売実績を確認し、出荷規格や出荷資材、産地ブランドなどの情報を共有しました。



▲市場を見学する営農指導員ら

地元高校生ナス研究グループが生産農家訪問



広島県立海田高校家政科の3年生4人は6月28日、海田町の實久静雄さんの圃場でナスの収穫体験をしました。同科では、課題研究としてナスを研究するグループがアレンジレシピを考案し、リーフレットを作成してナスの消費拡大をめざしています。

實久さんより栽培方法や育て方のコツなどを学び、ナスを収穫して研究理解を深めました。

リーフレットは11月に完成し、安芸地域本部管内の支店や事業所などで配布する予定です。



▲實久さんよりナスについて学び、研究理解を深めたい

市長に花束贈る



廿日市市バラ推進協議会は6月15日、廿日市市役所を訪れ、松本太郎市長にバラの花束を贈りました。花束は、同協議会の4戸が育てた深紅のバラ80本で作りました。同市の今井百花園の時永直子さんが市長に手渡しました。

同市は県内一の切りバラの産地で、出荷数は県内産の6割を占めます。同協議会会長の徳永和宏さんは「燃料や資材などの高騰で経営は厳しいが、多くの人に喜んでもらえるバラを作り続けたい」と話しました。



▲松本市長(右)とバラについて話す徳永さん

「夢産地高野だいこん」本格化



県内最大のダイコン産地の庄原市高野町で、夏秋ダイコンの出荷が本格化しています。高野町野菜組合だいこん部会は25戸が延べ36haで栽培し、11月下旬までに820tの出荷を見込みます。

およそ50年、ダイコンを生産する田村健三さんと樹子さんは今年1.4haで栽培。午前4時から約800本を手作業で収穫。洗浄し、葉を切り落として品質と大きさを確認して箱詰めし、出荷の準備をします。田村さんは「今年も形がよく、みずみずしいダイコンができた。上質なダイコンを味わってほしい」と話しました。

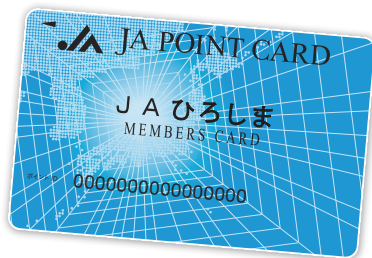


▲夏秋ダイコンを出荷する田村さん

JAポイントサービスが始まります！！

JA事業の利用などに応じてポイントが貯まる『JAひろしまポイントサービス』が令和5年9月19日(火)からJA管内全域で始まります。8月15日(火)からサービスの事前受付を、各支店・アグリセンター・産直市等で開始します。詳しくは、最寄りの事業所にお問い合わせください。

※合併以前に『JAポイントサービス』をご利用の方は、切り替えやお申し込みは必要ありません。



オリジナルキャラクター名の決定について

令和5年4月1日に誕生し、みなさまから募集しておりましたJAひろしまオリジナルキャラクターの名前が決定いたしました。

名前は「**ここまる**」です。

「心が温まる」という思いが込められています。

県内外から868件のご応募がありました。応募していただいたみなさま、名前の決定を楽しみにしていただいたみなさま、ありがとうございました！

今後「ここまる」は広報紙をはじめ、ホームページ、InstagramなどでJAひろしまをPRして参ります。これから「ここまる」をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

ここまるです！
これからいろんなところに登場します



通帳のみでのATMご出金取扱停止のお知らせ

JAバンク広島ではセキュリティ強化の取り組みとして、**令和5年7月22日(土)より**通帳のみでのATMご出金の取扱いを停止させていただきます。

このため令和5年7月22日(土)以降はATMでのご出金の際にキャッシュカードが必要となります。

利用者のみなさまには大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ご不明な点は、各支店にお問い合わせください。



理事会報告

令和5年度 第5回 開催日時：6月28日13:00から

付議事項

- 第1号議案 令和5年度会計監査人監査報酬について **【承認】**
- 第2号議案 介護休業及び介護短時間勤務に関する規程の一部変更について **【承認】**
- 第3号議案 夏期賞与の支給について **【承認】**
- 第4号議案 令和5年度総合財務計画の設定について **【承認】**
- 第5号議案 大口融資について **【承認】**

- 第6号議案 令和5年度不良債権処理の方針について **【承認】**
(金融債権、経済債権)

報告事項

- 1 経営管理規程の一部変更について
- 2 令和4年度決算概要の一部変更について
- 3 組合員の加入及び脱退の状況報告について
- 4 事業実績報告について

組合員資格の変更等について

相続の発生や、転居等により組合員資格に変更があった場合は、JAへの届出をお願いいたします。



水田活用でエダマメ産地化 機械共同利用で省力

JA三次地域本部は、水田の有効活用に省力的な栽培が期待できる土地利用型作物のエダマメの産地化を進めています。栽培3年目の今年は、4法人が約4.4haで作付けを計画。集落法人グループの連携で省力化作業体系を確立し、機械コストの削減とエダマメのリレー出荷による収益向上につなげます。

エダマメは、JAの全域振興品目の一つ。同地域本部は、2021年に約50aで試験栽培を始めました。関係機関とリレー出荷体制を構築し、もち麦など大麦との二毛作や水稲との輪作などで、2022年から本格的に栽培しています。



エダマメの播種前の準備をする関係者

ブームスプレーヤなどを融通し、機械投資を抑制。早生品種の「初だるま」「えぞみどり」に、中生品種「ゆかた娘」を組み合わせた栽培で、作業の分散につなげます。

今年は、国の産地生産基盤パワーアップ事業を活用し、収穫機の導入を予定し、一層の省力化を目指します。

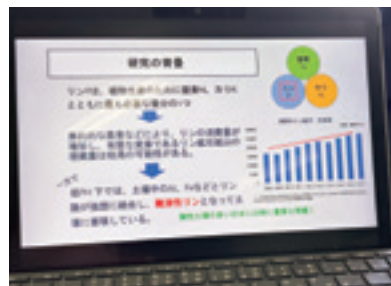


日本学校農業クラブ連盟に加入する、西条農業高校、吉田高校、庄原実業高校では、将来プロフェッショナルとして活躍する人材育成を目指し、特色ある高校として専門教育に力を入れています。農業に関わる幅広い産業に対する知識や技術の習得に努めている高校の特色ある取り組みについて紹介します。

土壌蓄積リン有効活用探る

西条農業高校園芸科の西村希歩さんは、授業でリン酸肥料の高騰に生産者が苦しんでいることや土壌に蓄積されたリンがあることを知り、土壌に蓄積する難溶性リンを微生物で溶解して有効活用する研究に取り組んでいます。

研究では、リン酸アルミニウムやリン酸鉄を溶解する菌を校内の圃場など、5カ所の土壌から採取しました。希釈液をリン酸三カルシウムの培地で培養。約80個のサ



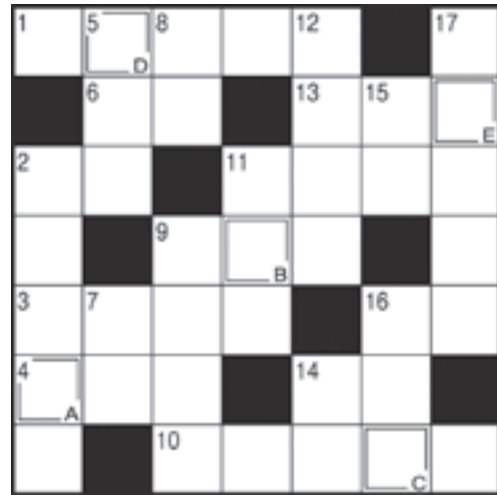
ンプルから、柿とブドウの園地で採取した土からリン溶解能力の高い有効株5種類を発見しました。

2022年度から広島大学の高大接続事業「グローバルサイエンスキャンパス(GSC)広島」に参加し、レポートや研究計画をまとめました。発表や研究ノートなどが評価され、2023年度は大学教員と研究活動する一人に選ばれ、より高度な研究や、専門知識と技術の習得に励みます。

クロスワードパズル

(出題/ニコリ)

二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



※答えは9月号に掲載します。



7月号の答え
「ヒヤケドメ」

今月のプレゼント

正解者の中から抽選で
10名様に

江田島くだもの
ジャム詰め合わせ
(イチジク、ブルーベリー)
をプレゼント!!

おもしろ雑学

- ① 京都の五山送り火で、最もよく知られた形の送り火
- ② エビネもカトレアもこの花の仲間
- ③ 肥料の3要素の1つ。元素記号はK
- ④ どのドレッシングで食べようかな
- ⑤ 骨切りをする細長い魚
- ⑥ イタリアの現在の通貨単位
- ⑦ パラシュートともいいます
- ⑧ 法やルールなどに背くこと
- ⑨ イタリアの1つ前の通貨単位
- ⑩ 「あかつき」や「白鳳」などの品種があります
- ⑪ 日暮れ頃にザーッと降ります
- ⑫ 読売ジャイアンツの本拠地は東京——です
- ⑬ 植物に水やりをするときに使う道具
- ⑭ 陰(いん)の反対語
- ⑮ 毎度、バカバカしいお笑いを——
- ⑯ 紙幣や貨幣を入れます
- ⑰ カレンダーに「FRI」と書かれていることも

応募方法

はがきまたはインターネットより、パズルの答え、住所、氏名、年齢、電話番号と写真やイラスト、身近で起きた出来事などを添えてご応募ください。

〒739-0015 東広島市西条栄町10-35
JAひろしま 総務部広報課「クロスワードパズル」係
https://jahiroshima.or.jp/8-contact
JAひろしまホームページのお問い合わせページよりご応募ください。

※投稿に際して取得した個人情報は承諾なく第三者に提供しません。※投稿は紙面の都合上、すべて掲載できません。ご了承ください。※プレゼントの当選者発表は発送をもってかえさせていただきます。

応募締切

9月5日(火)

※当日消印有効



みなさまからの お便り紹介

- ◆テーマ「夏休み」
- ◆夏休み：子どものお昼ごはん作るのがたいへん!!!
(府中市 H・Sさん)
- ◆保護者の方は忙しい日々の始まりです
(三原市 I・Tさん)
- ◆東京で幼稚園に通い始めた3歳の孫が「夏休みになったから広島に帰るから、畑で虫さんいっぱい探そうね」と楽しみにしている様子。ばあばも楽しみ!
(三次市 ねじやうさん)
- ◆畑で元気に遊ぶお孫さんが目に浮かびます
(三原市 I・Tさん)
- ◆メダカ鉢に三種の水草を浮かべ、メダカの産卵・孵化を楽しみに毎日鉢を覗いています。まだかな〜!
(廿日市 U・Sさん)
- ◆めだかの学校ができますかね
(安芸高田市 O・Hさん)
- ◆特集西日本豪雨から5年を読みました。この豪雨までは災害も他人事のように考えていましたが、とても身近な方が災害に遭い悲しい7月の思い出です。以来天気予報とか情報を自分事として注意するようになりました。自然災害の多い昨今も心がけること一つでも最小限にとどめることは出来ると思います。心にしっかり留意したいと思います。
(安芸高田市 O・Hさん)
- ◆自然災害が多くなってきました。しっかり備えていきたいですね
(東広島市 A・Tさん)
- ◆新ジャガを掘っていたら、ハートの形をしたのが出てきたので、珍しいので投稿しました。
(東広島市 A・Tさん)
- ◆可愛いじゃがいもですね! 幸せな気持ちになります
(東広島市 A・Tさん)

今回のテーマ「スポーツ」

※「クロスワードパズル」の答えと一緒に投稿いただいても構いません。応募先は上記の「クロスワードパズル」の応募方法をご参照ください。ペンネームでの投稿もできます。

編集
後記

暑い日々が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。今年度から広報課に配属になり、JAひろしま管内の魅力を再発見しています!キャラクターの「ここまる」と共にJAひろしまの情報を発信していきます😊(ながた)

健康 ひろば

「メニエル」とは?

JA 吉田総合病院
耳鼻咽喉科 横江 裕幸

「メニエル」ってよく聞きますが何でしょうか。病名でしょうか?

実はメニエルは病名ではなく、眩暈^{めまい}のことを言い換えているだけの症状の呼び名なのです。ただし、脳梗塞や脳出血から来る眩暈が心配な方はメニエルとは呼びませんので、生命に関わらない耳から来る眩暈などを、皆さんはメニエルと呼ぶようです。



メニエルは色々な眩暈を含んだ呼び名ですので、耳鼻咽喉科では何の病気による眩暈であるかを診断する必要があります。

診断のためには、いつ・どんなきっかけで・どういう眩暈が・どれくらい続いたか等々のお話が非常に大切です。耳鼻科医はこれらの質問と、聴力検査・眼振検査などの検査結果と合わせて眩暈の診断を行います。

ちなみに、耳鼻科の眩暈で最も多いものは、良性発作性頭位めまい症という耳石のめまいで、起床時などに回る眩暈を生じて、じっとしたら止まり動くと回る病気です。また、メニエルの名の元になった、メニエール病はあ

まり多くなく、疲れた時等にグルグル回りだし、耳鳴や耳閉感や難聴を伴うことが多く、数時間してやっと治まる眩暈で、それを不定期に繰り返す病気です。他にも数多くの眩暈疾患があります。



この暑い時期に注意する眩暈があります。畑仕事の後にクラクラする、台所で家事をしている時にフラフラする等は、実は耳鼻科の眩暈ではなく熱中症の初期症状である場合がありますので、休憩してしっかり水分補給します。それでも体調がすぐれない場合は内科などを受診してください。

メニエルでお困りの方は、一度は耳鼻咽喉科で診察を受けられることをおすすめします。

JA 尾道総合病院
尾道市平原一丁目10-23
TEL.0848-22-8111

JA 吉田総合病院
安芸高田市吉田町吉田3666
TEL.0826-42-0636

JA 広島総合病院
廿日市市地御前一丁目3-3
TEL.0829-36-3111



～大地の恵み～

「でかピー君」

通常のピーマンに比べて2～3倍大きく、苦味やえぐみを感じないほどの甘味があります。広島中央地域本部管内で1978年に栽培が始まり、JAが「でかピー君」の名称を商標登録してブランド野菜として販売しています。

